

糸島市次世代育成支援対策行動計画（糸島市子ども・子育て支援事業計画）【案】に対するパブリックコメントと対応について

章	頁	該当箇所	意見	対応
4	24	具体的事業 ファミリー・サポート・センター事業	ファミリーサポートはニーズが少なく、他の事業で対応可能とありますが、潜在的なニーズがあると思います。保育所・児童クラブが閉所している日曜日、お盆・年末年始などに働く場合、子どもを預かってくれる公的サポートがないため、仕事を休まざるを得ないこともあります。 子育て短期支援事業とあわせて実施されることを望んでいます。	ファミリー・サポート・センター事業については、「平成 29 年度の間見直しにおいて、実施の可否を再度検討する」と記載しており、子育て短期支援事業についても、「実施に向け積極的に検討します」と記載しているため、本意見への回答は包括できていると考えます。 <b>⇒現行のままとします。</b>
4	45	具体的事業 食に関する情報提供 課題と方向性 「食に関する学習機会や情報提供を推進します」	「食に関する学習機会や情報提供を推進します」とありますが、課題として考えられるのはその質（内容）だと考えます。例えば、食材の地産地消率や放射能検査（震災以降この問題はシビアだと考えます）など、現在、学校給食の情報提供については十分だとはいえないと感じますし、その点を是非とも具体化していただければ幸いです。	「課題と方向性」の項目において、「県教育委員会へ強く要望し、栄養教諭の配置を図っていきます。」と記載しており、今回寄せられている課題解決に繋がられるため、本意見への回答は包括できていると考えます。 <b>⇒現行のままとします。</b>
4	58	基本施策 4 家庭や地域の教育力の向上 「豊かな自然環境などの地域の教育資源を活用した子どもの多様な体験活動の機会の充実に努めます」	「豊かな自然環境などの地域の教育資源を活用した子どもの多様な体験活動の機会の充実に努めます」という目標については、まさにその通りだと考えます。一方、目標を具現化するための具体的事業に現実性が薄いと感じます。 たとえば、No. 6 の〈特色ある学校づくりの推進〉については、残念ながらそれが形骸化されていると感じる学校もありますし、No. 7 の遊び体験活動もそ	61 頁「No. 6 特色ある学校づくりの推進」の「課題と方向性」の項目に次の文章を追加します。 いただいた御意見につきましては、今後計画を推進していくなかで、貴重な御意見として参考とさせていただきます。 <b>⇒また、市役所関係課と連携しながら、糸島の強みを生かした学校の特色化を図っていきます。</b>

			<p>の存在さえ知らない小学生や保護者が多数です。「地域の教育資源」と一言いっても、実は地域によって様々であり、何より、自らの地域の資源が何かを知らない、そのことが地域全体で共有されていないままに言葉が独り歩きしていると感じることも多々あり、できれば、地域資源を地域住民（子どもも大人も）が調べていくような地元学の視点（あるもの探し）やフィールドワークの実施、リソースマップ作りなどの具体策を提示していただきたいです。</p>	
4	69	<p>基本施策4 安全・安心なまちづくりの推進等</p>	<p>具体的事業として挙げられているのは主に環境整備（ハード面）だと感じます。子どもの安全・安心にとっては、ソフト面の充実が欠かせないことは言うまでもありません。例えば、一貴山校区では、地域の見守り隊の方々が、ボランティアで子どもたちの登下校を見守ってくださっており、本当に感謝に堪えません。このように、市の施策からこぼれ落ちているソフト面をカバーしてくださっているマンパワーの存在を、ぜひとも知っておいていただきたいですし、できることならば、その善意に依存しないような何らかの評価や報酬があるといいな…と感じます。</p>	<p>糸島市内での身近な犯罪（住居侵入盗、車上ねらい、万引き及び自転車盗等）の発生件数は、平成16年の1,298件をピークに年々減少し、平成25年は522件と約6割減となっています。このことは、行政機関の力だけではなく、「自らの地域は自らが守る」という意識のもと、多くの市民、事業者の皆様の通学路での子どもの見守りや青パトでの巡回等の日頃の安全安心まちづくり活動のお陰であると十分認識しております。</p> <p>ソフト面の充実については、73頁において、「犯罪等の被害から子どもを守るため、地域全体で犯罪を防止する取り組みを推進します。」と記載しており、市として、校区等の防犯パトロール実施団体への補助金交付、防犯グッズの配布及び組織づくりの支援等を行っています。</p> <p>また、長年に渡るボランティア活動に対しては、市の地域活動振興奨励顕彰による表彰を行って</p>

				<p>ます。</p> <p><b>⇒70 頁に「No.4 地域で犯罪を防止する取り組みを推進する事業」を追加します。</b></p>
4	69	<p>具体的事業</p> <p>公園緑地管理事業</p> <p>課題と方向性</p> <p>「子どもの安全な遊び場を確保する視点に立ち、公園・広場等の整備時に安全面を十分検討していきます」</p>	<p>安全面の確保はもちろん大切です。一方で、公園での禁止事項（例えば、ボール遊びの禁止など）が増えすぎること、子どもの自由に過ごせる居場所を大人が奪ってしまう可能性もあるというリスクについても、十分に考慮していただきたいと思います。</p> <p>*例えば、前原の篠原公園では、禁止事項が多すぎて、子どもが自由に遊べない・・・という子どもの声を聞いたこともあります。</p> <p>目標に「公園新設」とありますが、新設するのであれば、ぜひとも子どもを交えたユーザー目線での意見を気軽に出せるようなワークショップの開催を求めます。</p>	<p>今後、公園を新設整備する際に、整備の用途に応じ、必要と考えられる場合は、設計時にワークショップの手法等をとることも検討します。</p> <p>その他いただいた御意見につきましては、今後計画を推進していくなかで、貴重な御意見として参考とさせていただきます。</p> <p><b>⇒現行のままとします。</b></p>
4	73	<p>具体的事業</p> <p>保育サービス等の実施</p> <p>概要と実績</p> <p>・病後児保育事業</p>	<p>「病児保育」を実施していただきたいと願っています。子どもの病気は1～2日では治りません。安心して子どもを育てられ、働き続けられるために医療機関と連携した保育を実施してほしいと願います。</p>	<p>107 頁「(4) 病児・病後児保育事業 2) 確保方策」の項目において、「病児保育については、施設整備等の課題がありますが、実施に向けて検討します。」と記載しています。</p> <p>実施に向けた前向きな検討を考えていますので本意見への回答は包括できていると考えます。</p> <p><b>⇒現行のままとします。</b></p>
4	96	<p>具体的事業</p> <p>教員研修の実施</p>	<p>校内での教員研修の実施に加え、より専門的な知識と経験をもつ専門の教員を増員することが必要と考えます。現在、南風小・東風小で通級指導が行われていますが、支援が必要な子どもの数に対して少</p>	<p>「課題と方向性」の項目に次の文章を追加します。</p> <p><b>⇒具体的には、臨床心理士学校巡回事業を活用し、児童・生徒の特性に応じた指導の在り方について学ぶ研修を充実させていきます。</b></p>

			<p>なすぎると思います。早く気付いて早く支援を受けられる環境の整備を望みます。それにより、発達障害を持つ子どもへのいじめ、それにとまなう不登校・ひきこもりが減少することを期待しています。</p>	
6	112	<p>1. 市民参画の推進</p> <p>7行目「市政への提言などの広聴活動を通じて、市民の皆さんの意見把握に努め、市民の皆さんとの意思の疎通を図りながら・・・」</p>	<p>市民参画を推進しようとする市の姿勢を大変うれしく感じ、共感しております。一方、その意見把握や意思の疎通をどのように図るのか…という点については、それが十分に実現できる画期的な方法を望みます。</p> <p>たとえば、今回のパブリックコメントについても、私がある存在を知ったのは、市政だよりの12月15日号で、我が家に配布されたのは18日でした。現在子育て中の当事者としては、とても関心がある内容でしたが、お正月を挟むという厳しい日程、行動計画のボリュームや分量の多さなど、子育てしながら熟読し、意見を伝えるには、負担が大きい作業でした。</p> <p>また、事業計画策定にあたって実施したとされるアンケートの報告を見せていただきましたが、その回収率は41.6%、45.4%と、どちらも半数を割っており、正直言いまして、当事者の確かな声を反映しているとはいい難いと感じます。私も子どもを抱えておりますのでよくわかりますが、日々、時間に追われるような日常の中、アンケートの提出、パブコメの提出など、その必要性はわかりながらも、実際にその時間や労力を費やすエネルギーが残っていな</p>	<p>「子ども参加」については、糸島市まちづくり基本条例第10条において、「すべての市民は、まちづくりの主体として参画する権利を有する。」としており、すべての市民のなかに子どもも含めて定めるところです。</p> <p>また、「子ども参加」の具体的な手法については、様々なものが考えられますが、本市においては、「No.5 ジュニア・リーダー研修」(33頁)において、中高生が子ども会に指導者として参加することで、中高生の意見を取り入れた活動を行っています。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、今後、どのような手法を取っていくべきか、他市の先進事例等を参考に、検討していきたいと思っております。</p> <p>その他いただいた御意見につきましては、今後計画を推進していくなかで、貴重な御意見として参考とさせていただきます。</p> <p>なお、今回の調査では、回答率の安全性を考えて、4,000人を調査対象としました。有効回答数は1,739人であったため、統計学上の計算に当てはめると信頼度は91.8%から98.5%になります。</p> <p><b>⇒現行のままとします。</b></p>

			<p>いのが育児の現状です。その現状を踏まえるならば、ペーパーだけのアンケートやパブコメ募集ではなく、子ども託児付きでもっと気軽に語り合えるようなサロンやワールドカフェを開いてもらえると、もっと、積極的に意見を伝えることができるし、ひいては、地域全体で子育てをするという当事者意識が向上し、本来の意味での市民参画が推進されるのではないかと考えます。</p> <p>更に、もう一つ新たな視点提案させていただけるならば、「子ども参加」の視点を是非とも盛り込んでいただくよう望みます。(一例ですが、宗像市では「子ども基本条例」が策定されていますね。糸島においても、そのような子ども参加を行政が率先して進めていくような画期的な取り組みを期待します)</p> <p>もちろん、この行動計画を立案し、事業計画の具体的施策を整理するまでに、多大なる時間と労力を費やされたことと想像いたしますし、それに対して、心から感謝いたします。ぜひとも、この計画が実りある成果へとつながりますよう、一市民としても自分にできることを探しながら「のびのびと子どもが育つ糸島市」を共に創っていきたいです。</p>	
--	--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

※頁数については、糸島市次世代育成支援対策行動計画（糸島市子ども・子育て支援事業計画）【案】のものとなっています。